

第6章 保育士に対するグループインタビュー調査

1. 調査概要

(1) 実施概要

- 調査期間 2023年2月19（日）、2023年2月26日（日）
- 調査対象 保育士向けアンケート調査に協力してくれた保育士の中から協力者を依頼
- 調査方法 オンラインでのグループインタビュー
- 対象者数 3グループ、各3～4名、計10名

■グループインタビュー実施日時、対象者数

グループ	日時	対象者
グループ1	2月19日(日) 17時～18時30分	・3名（30代女性3名）
グループ2	2月26日（日） 14時～15時30分	・4名（20代女性1名、30代女性1名、40代女性2名）
グループ3	2月26日（日） 17時～18時30分	・3名（40代女性2名、50代女性1名）

(2) インタビュー項目

インタビューは次のような内容でおこなった。

■インタビュー項目

大項目	小項目
1. 働き方の実態	<ul style="list-style-type: none"> ●勤務時間について ●休暇について ●業務内容について ●給与について ●その他
2. 保育士の仕事に対する考え	<ul style="list-style-type: none"> ●保育士の仕事でやりがいを感じること ●保育士の継続意向
3. 保育士が働きやすい環境づくりに向けての取組	<ul style="list-style-type: none"> ●必要だと思うこと ●実際に勤めている園でおこなわれている取組で好評なもの

2. 調査結果

(1) グループ1

■インタビュー結果

質問項目	対象者A	対象者B	対象者C
年代	30代女性	30代女性	30代女性
施設種別	公立認定こども園	小規模事業保育所(主任)	公立認定こども園
職務内容	5歳児の保育教諭	主任	3歳児を中心にみている
勤務実態	<ul style="list-style-type: none"> 朝7:30前から早くて17時頃まで働く。 土日は休み。 最近になって休憩をとる雰囲気が出てきたが、それまではずっと動きっぱなし。人手不足で平日は残業して、土日出勤も。 	<ul style="list-style-type: none"> 月168時間、週5-6日出勤で、残業はほとんどない。 早く終われば18:00頃に帰れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 週休2日制。土曜出勤の場合は平日代休。 休憩込みで1日8時間30分勤務。 休憩は実際はほとんど取れない。
勤務していて大変と感じること	<ul style="list-style-type: none"> 人手がなくなきつい。これが常態化する困る。 経験年数が多い40代以上や管理職ほど業務量が多い。20代は、経験浅い分業務量は少なく早く帰れている。 		<ul style="list-style-type: none"> 2歳以下の子供担当時は身体的負担が大きかった。今は3歳以上を担当しているので比較的楽。
休みの取り方	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園勤務の時に比べると、休みは比較的取りやすい。コロナ禍以降は特に取りやすい雰囲気になった。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分がシフトを組む。他の職員を優先するため、自分の希望に合わせることは難しいが、休みは取れているので不満はない。 	<ul style="list-style-type: none"> 有休は年1回ほどしか使っていない。 独身なので取りづらい(子ありが優先と思い)。 週2日はしっかり休める。
どのくらい有休が取れば満足するか	<ul style="list-style-type: none"> 3分の1取れば満足。職員の家族構成などによって、シフト希望を話し合ったり、園長先生が休みを取るように声掛けしてくれる。 	<ul style="list-style-type: none"> 有給は全部消化できたら満足。 実際は3分の1しか取れていない。1日でも失効したくない(有給を換金してくれれば消化できなくても良い)。 	<ul style="list-style-type: none"> 3分の1取れば満足。有給とは違うが、生理休暇があるのに使っている人を見たことない。
働き方の実態 保育業務で負担が大きいと感じること	<ul style="list-style-type: none"> 1人で5歳児30名をみて、その後事務作業となるときつい。職員の配置基準を見直して欲しい。 学級事務の量も多い。週案や指導計画の作成、研修、保護者対応と四方八方から仕事が入ってくるイメージ。1日が煩雑な状態で終わってしまう。指導計画もスリム化して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 業務範囲が広く大変だがやりがいを感じている。 保育料の徴収などが大変で、銀行口座の開設手続きの案内など、行政に担ってもらえたら楽になる。 	<ul style="list-style-type: none"> 5歳児担当の時は、担当する児童数が多く大変だった。 2人担任の体制だったので、相手の先生に助けってもらえた。単独ではなく、一緒に付いてくれる人がいると安心。
事務作業の占める割合	<ul style="list-style-type: none"> 5割。保育している時間と同じくらい事務作業をする。14時ごろに児童退園のためそれまで保育6時間、その後4-5時間事務。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育のみ。1日みっちり事務に集中する日を別に設けている。それで間に合わない場合は持ち帰り。 	<ul style="list-style-type: none"> 事務作業は大体家でやる。週1回は5時間ほどPC前に座りっぱなし。
給与について感じる事	<ul style="list-style-type: none"> 0~3歳は特に、命にかかわる場面が大きいので、看護師・医療従事者並みの固定給があるべき。4-5歳は学校の先生並みの固定給があるべき。 仕事内容に見合った給料でないと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 業務内容と責任の重さに対して、給与が見合っていない。仕事自体は楽しくやりがいがあるのだが、給与面で續けていけない不安。 他の職種に比べると低いと感じる。処遇改善が最近出てきたがそれでも足りない。賞与額も安定しない。 	<ul style="list-style-type: none"> 0~2歳は命に係わる仕事だし、3~5歳は求められる教育水準が上がってきている。あと2-3万は上がって欲しい。
給与は今は大丈夫？	<ul style="list-style-type: none"> 会計年度職員の時に同じ業務をしていた経験を踏まえると、今は少ないなと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 今も我慢できない。将来が不安。副業もしている。業務内容に見合った給与を求め、転職したい。 	<ul style="list-style-type: none"> 以前は認可園で、その時は給与の低さで退職した。今は公立に転職して月10万円ほど上がった。
今後給与が上がっていくことを想像できるか	<ul style="list-style-type: none"> 自分の給与は少しずつ上がってきたのである程度は想像できる。 一方で、民間の保育所は、保育士の処遇改善に充てられた予算が現場に届かず、管理職にまでしか届いていないイメージ。改善して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 経験年数の多い人でもそんなに昇給していないので、給与が上がる希望がもてない。 	

質問項目	対象者A	対象者B	対象者C
年代	30代女性	30代女性	30代女性
施設種別	公立認定こども園	小規模事業保育所(主任)	公立認定こども園
職務内容	5歳児の保育教諭	主任	3歳児を中心にみている
働き方の実態	優先度の高い取組 ・自分は、6位に上がっている「雰囲気づくり」が重要だと思う。 ・心を病んで辞めていく人が多いので、優先度はもっと高い。 ・悩みを相談できるホットラインなどがあると良いと思う。	・8位にあがっている「福利厚生」が重要と思う。 ・手当や社宅が整備されていれば今の給与でも良いと思える。	・10位の子育て支援体制について、現場では、育休明けすぐ担任業務に戻らないといけない。30-40代で自身も子育てをしている保育士は、保育の仕事に集中できない。その時々で、本人にとって働きやすいポジションに入れるようにすることは大事だと思う。
保育の仕事に対する考え	保育士のやりがい ・最初は辞めたいほど辛かったが、経験を積むうちに自己成長を感じる場面が増えて楽しくなってきた。	・子供との関わりやマネジメントはやりがいを感じる。	・子供と一緒に過ごせ、成長を間近で見られるのがやりがい。続けるほどスキルアップが感じられる。
	保育士を続ける上で、不安に思うこと ・10年後も今のペースで働けるか不安(体力面などで)。	・子供と関わる仕事は続けていきたいが、現在の給与では続けられない。同じ子供と関わる仕事で、より待遇の良い職種に就きたい。	・一斉保育ではなく、子供一人ひとりを見守る保育が叫ばれており、賛同できるが、これによって保育士の業務負担は増えるように思う。 ・求められる仕事の水準が上がっていくことについていけるか不安。
	保育士は若い人向けの仕事と思うか ・経験によって見える景色が変わるので、ベテランの視点も大事だと思う。	・年代のバランスが必要。経験ある人はより子供の気持ちを汲み取ることが上手。若い人は若い人なりの頼もしさもある(赤ちゃん抱っこしたり、テキパキと掃除したり、ICTに強かったり)。	・若い先生から学ぶこともある(ICTなど)。 ・Bluetoothをつなげて発表会など。 ・一方でベテランならではの専門性もある。全年代必要だと思う。
働きやすい環境づくり・取組	現場で、どのような取組が好評か ・休憩代替保育士・フリー保育士の数が増えたことで、休憩を取りやすい雰囲気になるし、急な欠勤にも対応しやすくなった。 ・1日8時間働けない、担任はできないといった方もいるので、フリー保育士にもニーズがあると思う。	・週1お便り帳なしの日を設定して、その日に職員間の打ち合わせを行っている。連絡帳を書く作業が減ると同時に、職員同士のコミュニケーションの時間にもなり一石二鳥。	・指導案を週1回行っていったのを、2週に1回になったことがとても良かった。保育の見通しをしやすくなり、事務負担も軽減した。 ・異動してきた保育士の提案で導入された。
	職場の人間関係をよくする取組はどのような形で実現できるか ・雑談を言い合える雰囲気にするように心がけた。ぎすぎすしていたのが、笑いのある職場になった。雰囲気を明るくしてくれる先輩の真似をした。	・年に2-3回、園長との個人面談がある。面談であがった題材を全体研修で共有し、改善に努めている。信頼関係を築くことができた。 ・お互い話すことはとても重要。それしかない。	・今が一番人間関係の良い職場。園長・副園長など上の人がおしゃべり好きだったり明るいと、職場全体も明るくなる。
	ミーティングの頻度はどれくらい？		・職員会議は週1。雑談でも保育の現状や子供の様子は話せている。
最後に	【互いに質問】 【質問者】 週案の2週に1回に削減したことは素晴らしい。週案の上にある「こどもの姿」「ねらい」等も2週分書くということか？		【回答者】 その通り。2週分のことを書くので、書く量はやや増えるが、2人で担任をしているので負担は減っている。
	【互いに質問】	【回答者】 月単位で、日ごとに入るクラスや業務を決めている。臨機応変に変えることもあるが、何も計画がないと見通しが立たないとフリーさんからも不満が出る。	【質問者】 フリーの先生がいつどのクラスに入るかシフトは組まれているのか？
	保育士の業界がどんな方向に変わっていくのが望ましいか ・辞めていく人が多い職業。その一方で辞めていった先輩が保育の仕事に戻ってくる機会も増えたように感じる。辞めた人も戻ってこられる環境であって欲しい。	・保育の仕事は大変。人がいっぱいいれば楽になる。給与の面が上がってくると、生き生きと仕事ができる。	・事務作業が多すぎるため持ち帰り仕事も発生する。給与面はモチベーションになる。

(2) グループ2

■インタビュー結果

質問項目	対象者D	対象者E	対象者F	対象者G
年代	20代	30代	40代	40代
施設種別	私立認可こども園	私立認定こども園	認可保育園	私立認可保育園
職務内容	保育士4年目、2歳児担任	4歳支援の加配担当・パート 保育士経験通算4年。	経験年数17年の主任	経験年数17年、0歳児担当
勤務実態	・週5-6日。1日9時間。 ・シフト制で、早い日は6:45~16:00、遅い日は10:00-19:00。正規職員はみんな同じような状況。	・2人目の子供が生まれるまでは9時~18時のフルタイム。それ以降は希望により1日6時間パート。	・シフト制の8時間勤務。 ・自身の子は19歳と21歳で手はかからないので、育休明け職員のカバーをしている。	・2年前に子供出産後、8時~15時までの7時間勤務で週休2日。 ・現施設では私が育児しながら勤務の初例。
希望通りに働けているか	・1時間休憩あるが、実際は取れていない。子供が19時以降もいる場合は残業。	・子供がいる中、勤務時間はちょうど良い。	・8時間勤務は自分は問題ないが、7時間勤務に削減可能ならしたい。産休・育休明けでも働きやすいようにはしている。	・現在は希望通り。 ・生む前はフルタイム、朝番・早番が不規則のシフト制で大変。フルタイムに戻れるか心配。
休みの取り方	・公休はクラスごとに調整し、主幹の先生が最終的にシフト決め。 ・1年間の有給は4月に申請するので、単発的な有給を取りにくい。 ・長く勤めている人に比べて、若手の人は希望を出しにくい雰囲気。	・パートは土曜休みで、勤続年数に応じた年休の範囲を超えると欠勤扱い。 ・子供の事情で年休はすぐなくなる・年休範囲を超えると無給になるため、休みを取ることに抵抗がある。	・有給は取りやすくしている。パースデー休暇により、1日はそこで有給消化させる。有給消化率は50%→80%ほどに改善された。 ・小さな子を持つ保育士の休みをカバーしている。	・土曜休みは希望で出している。 ・有給はどちらかといえば取りにくい。自身の子の発熱などで休むこともあるので、取りにくい空気はある。
働き方の実態	・行事が多い。毎月のようにあり、年2-3個は担当させられ負担。 ・職員配置が不十分。2歳児24名に対して4名職員いるが、欠員の発生するクラスへ移ったりで、実際は3名で見ている。 ・1番負担に感じるのは事務作業を思うように行えないこと。PCは事務所にしかなく、タブレットもない。手書き業務は比較的多い。	・負担に感じるのは書類関係。クラスごとに月案・週案があり、日々の日誌、支援児の支援計画・支援日誌を定期的に書かないといけない。 ・児童と離れる時間がなく、書類時間を確保できない。昼寝時でも行事準備や会議があるので、結局残業や持ち帰り。しかし家にも自身の子供がいるため難しい。	・書類面が大変という意見があり、ICT化を一昨年後半から取り入れ始めている。クラスに1台ずつPC/タブレットを導入。 ・連絡帳記入や登降園管理等で改善あったが、まだ持ち帰りしている職員はいるので改善の余地はある。	・書類作成などやるのがたくさんある中で、トイレ掃除なども行っている。来年からは用務員さんを雇う。 ・コドモンを使って効率化できた事務はあるが、PC支給がないため職員自身のスマホで利用している。子供の横で携帯をいじっているのは見た目上も良くない。
給与について感じる	・手取りが20万前半(家賃手当・通勤手当込み)。手当なしでそれくらいが妥当だと思う。 ・子供のために思って教材準備等を時間外に行っている。加えて、産休明け職員のカバーで長時間働いているのを考えると不十分。	・給与面は、保育士全般として「子の命を守る」という職務に対して低い。処遇改善などはあるが、その分税金を取られる。 ・支援児の加配に就くことになったが、給料は以前と変わらず。適切な待遇がないのは微妙。	・処遇改善で給料は上がったが、保育士業務に対しては足りないと感じる。 ・より良い給料を求め転職をする気持ちもある。 ・給料が低くても使命感(子供のため)で働き続けている保育士が多いと思う。	・短時間勤務なのもあるが、給料が低い。 ・業務量に見合っていない。休憩もなく気をずっと張った状態で勤務後かなり疲れる。
優先度の高い取組	・給料が1位というのは納得。それがなくと長く続けられない。 ・休憩の取りにくさは子供相手の仕事なので仕方ないと思っている面がある。	・給与が1番。 ・次に、書類・事務作業の軽減により持ち帰りをなくせたら良いと思う。 ・本当はノンコンタクトタイムが欲しいが、職員数がギリギリなので難しいのかなと思う。	・1番は給料だと思う。良いモチベーションになると思う。 ・保育士は子供だけでなく、保護者支援など色々な面で神経を尖らせているオールマイティな仕事だと思う。それに見合った給料は重要。	・1番は給料。 ・職員の増員も必要だと思う。気兼ねなく休みを取れるようになりたい。 ・子育て支援体制も個人的に必要。子が小学校入学するまで短時間勤務を希望する。

質問項目		対象者D	対象者E	対象者F	対象者G
	年代	20代	30代	40代	40代
	施設種別	私立認可こども園	私立認定こども園	認可保育園	私立認可保育園
	職務内容	保育士4年目、2歳児担任	4歳支援の加配担当・パート 保育士経験通算4年。	経験年数17年の主任	経験年数17年、0歳児担当
保育の仕事に対する考え	保育士のやりがい	・子供が好きで就いた仕事で、大変な面もあるけど子供のことを考えて仕事をしているときは楽しい。	・今の仕事に満足・楽しさを感じている。子供たちもかわい。	・仕事には満足している。施設長も良いし、成長する子を見るとやりがいを感じる。	・仕事は満足している。子供もかわいくて、幸せを分けてもらっている感じがある。
	保育士を続ける上で、不安に思うこと 若い人の離職意向が高いことについての考え	・現施設では主幹先生の圧が強い。 ・対象者Gのような先輩がいたら働きやすい。気軽に相談しやすい雰囲気大切。 ・子供の命を預かる責任のある仕事なので、給料が良くなると働きやすくなる。	・一方で、今よりもっと条件の良い仕事があれば検討していきたい。 ・給与と業務内容のアンバランスから他の仕事も検討したい。	・自身の生活を考えると保育士以外の仕事も考えるときはある。	・若い保育士が離職してしまうのは勿体ない。保育業はオールマイティで、子供が好きでも書類作成が苦手な負担を感じる保育士もいる。 個々の苦手分野をお互い補えるよう上手く業務を分担できれば退職してしまう保育士も減るのではないかと考える。 ・若手保育士に対して、園長などが自分の正解を教えるのではなく、その子自身の考えを聞いてあげられる場が理想。
働きやすい環境づくり・取組	現職場で、どのような取組が好評か	・休憩スペースもない。人も足りないので休憩時間の確保もできない。主幹の先生の圧が強く、相談しにくい。	・全職員人柄が良く、先輩・後輩で相談しやすい。園長や主任も相談・お願い事をしやすい。 ・主任を2年の交代制にしている。現主任は任期後担任を持つ。管理職・現場職どちらも理解することができる。	・先生に負担のない・先生が笑顔でいることが子供にとってもプラス。負担を減らすためにICT導入や休憩時間の工夫をしたが、行事で忙しく実践できていない。 ・園長・主任がいつも笑顔でいることで、園の雰囲気を良い状態にしようと心がけている。 ・主任は担任を持たないが、なるべく保育室をまわっている。保育士の話や子供の様子を聞く・見るように心がけ、風通しがよくなるようにしている。	・時間の作り方を工夫して、休憩を取れるようにした。ごはん～お昼寝の1時間に1人抜けて書類に集中し、連絡帳・日誌を完了させる。その後1時間休憩をとる。
最後に	【互いに質問】	【質問者】主任の交代制:何年目以上の人から?とても良い制度だと思った。	【回答者】規定はないが、ある程度の経験年数の人が対象。		
	【互いに質問】	【回答者】時間給はない。少しの所用であれば園長許可で抜けることはできる。	【回答者】1時間単位で取れる。給与計算する立場の人としては、1日単位で取って欲しいそうだが、取っても良いことになっている。	【質問者】皆さんの施設で時間給はあるのか。数時間出勤できないだけで欠勤扱いされるのは勿体ない。	【回答者】1時間単位である。有給に○日と○時間と記録される。ありがたい制度と思う。

(3) グループ3

■インタビュー結果

質問項目	対象者H	対象者I	対象者J
年代	40代後半	50代	40代後半
施設種別	認可保育園	小規模保育園	認可保育園
職務内容	フリー保育士 パートの短時間勤務	保育園では0歳児担当。 学童保育も見ている。	3歳児担当の正規職員
働き方の実態	勤務実態	・敷地内の別施設とあわせて1日8時間働いている。 ・50代に入って体力的にきつくなって、夕方になると思考回路が途切れることもあるので、勤務体制は今後考えていきたい。	・月22-24日、1日8時間勤務。 ・月～土営業。 ・1日8時間は問題ないが、休憩1時間といっても 実質9時間拘束 。慣れてしまえば問題ないが、15分ほど休める休憩スペースがあれば良い。
	休みの取り方	・土日祝日は基本休み。第5週土曜日は出勤。 ・有休は月1回取得推奨しているが、コロナ感染があると実践できず大変。コロナ禍に設立されたばかりで、本来の休暇の取り方はまだ見えていない。	・保育士の数が足りないため、半日休暇も多く、 フル1日休みは月1回くらいしかない 。家族で出かけるのも日曜しかできない。 ・土日休みのパートさんに代わり正職がカバーしており、 休みの取りにくさ を感じている。
	保育業務で負担が大きいと感じること	・フリーの立場なので、担任に入ったり水遊びを見たり 身軽に動いている 。 ・記録簿などは担任が行うが、連絡帳はたまに手伝うことがある。施設は持ち帰りはしないよう推奨しているが、休憩を削っているし、園児を見ながら食事をしている。いつかはフルタイムと思っているが、その様子を見てると不安になる。	・日々の保育、記録簿、保護者とやり取りなど担当。 ・記録簿や指導案は持ち帰りするしかない。保育園では子どもから手が離せず、 事務的な作業はする時間が全くない 。
	給与について感じること	・現施設は3年目、それまでは院内保育。現施設での給与は満足。 ・時給に加えて処遇改善手当がある。 ・前施設では処遇改善手当の支給がなかった(手元に届いていなかった)。	・県外出身でその時は公立保育園に勤めていた。 ・それに比べると現在は給与が少ないと感じる。 子供と関わって幸せという気持ちでやっている 。 ・沖縄が好きで移住した。沖縄は最低賃金が低くて、掛け持ちで仕事をしている人が多い様子。 ・処遇改善はもらっている。園の事務方がもっと良くしようと手当などを一生懸命探してくれる。
	職場のコミュニケーション	・職員は調理含め25名くらい。 ・職員同士が話し、お互いを理解している雰囲気はある。コミュニケーションはしっかり取れていると思う。 ・働きづらさを感じる面は感じない。しっかり連携は取れている。フリーの保育士がフリーに動ける状態ができていて良い。	・経営者が 職場の雰囲気を良くしよう と心がけている。 ・小規模事業所なので職員数は13-14名。色々なことを言いやすく家庭的な雰囲気。

質問項目	対象者H	対象者I	対象者J
年代	40代後半	50代	40代後半
施設種別	認可保育園	小規模保育園	認可保育園
職務内容	フリー保育士 パートの短時間勤務	保育園では0歳児担当。 学童保育も見ている。	3歳児担当の正規職員
働き方の実態	優先度の高い取組	・保護者スマホ・園のタブレットを利用して手書きの連絡帳や記録簿を簡素化しようとしている。オペレーションに慣れれば楽になると思う。	・子育て支援体制はどんなものが含まれるのか。別施設では子供の病気休暇があり、そういうのは良いと思う。夫の職場では扶養が増えると給料が増える。保育所はそういうのがないと思う。
保育の仕事に対する考え	現職の満足度、継続意向について	・20代から保育士だったが30代に一旦保育から離れた。 ・沖縄にきても最初は別の仕事をしてしたが、待機児童の問題を目にするようになって、 自身の保育資格を活かせないか考えるようになった。 ・保育士になりたくてなって辞めてしまふのは勿体ないと思うが、 色々な経験を経てまた戻ってくるのは良い と思う。戻ってきたら新しい視点も持つことができる。年を重ねると余裕をもって仕事ができると思う。	・出産前は自分の子育て中は保育士を辞めようと思っていた。しかし出産後は認可外しか預けることができず、認可園に自身の子供を預けるために保育士として復帰した。 ・ 保育の仕事と子育て両立は本当に大変。 監査に備えて書類を整備したり、子供が怪我しないよう注意したり正職は保育以外にも責任がある。 ・今は子供が小学生で、 このまま保育士でいられるか心配。 ・20代が保育業以外に就きたいと思うのは残念。
	20代保育士が働きやすくなるように先輩としてどんなことができるか	・現施設では複数若い子がいるが、1人だったら状況は違うだろうなどは思う。同年代が複数いた方が良いと思う。	・若い人には若い人なりの純粋さがあるので、色々挑戦したら良いと思う。 ・若い保育士さんは少なく、若いパートの人で保育の勉強をしたいという人はいる。
働きやすい環境づくり・取組	現職場で、どのような取組が好評か	・コドモンは高額なので、別のサービスを導入する予定。 ・自分の勤務先では、休憩時間は家に帰ったり用事を済ませることができる。 ・会議はコロナでできていなかったの、今後復活していけたら。学童スタッフは以前ミーティングと言いながら 食事をしながら話す場 を設けていた。そういう場はやはり大事だと思う。	・おたより帳なしの日は良いと思うが、おしゃべりができない0～2歳児にとってはすぐになくするのは難しい。午睡時間や検温、活動記録が必要。 ・ミーティングは午睡中や全員集まるタイミングで行うことがある。 ・前職は閉園20時～24時にかけてしていた。その時は参加必須の空気があった。
最後に	【互いに質問】	【回答者】 ・保護者さんが大変なものわかるので、預けることを逆に勧めたこともある。 ・保護者に対して 協力依頼を出す ことはある。協力的な保護者は多い(おじいちゃんに預けたり等)。	【質問者】 ・保護者が 休みの日でも保育園に子を預けに来る (リフレッシュのため等)。家庭保育にしてもらえないか声掛けをしたこともあったが不評だった。十分に保育士がいれば問題ないのだが、可能な限りお互い理解をできれば良いと思う。他の施設はどうなっているのか。 ・ファミサポなども利用してもらいたいが、有料なので保育園として勤めるのはNGと言われている。

